

仙台医療圏

東北労災病院

仙台市青葉区台原

マッチング募集定員10人



院長
井樋 栄二

東北労災病院は、仙台市中心部近くに位置する二次救急医療機関であり、地域の中核病院として大きな役割を担っています。内科・外科のcommon diseaseや骨折などの外傷を適切に治療し、速やかに家庭・社会復帰をして頂くことを使命と考えています。

よき医学・医療者を目指す多くの研修医の参集を期待しております。

病院の概要

(令和5年4月1日現在)

開設者	独立行政法人 労働者健康安全機構 理事長 有賀 徹
病床数	一般548床
診療科目 (常勤医師数)	消化器内科(17)、糖尿病・代謝内科(4)、腫瘍内科(1)、緩和ケア内科(2)、総合診療科(1)、循環器内科(3)、高血圧内科(2)、腎臓内科(1)、呼吸器内科(10)、リウマチ科(3)、精神科・心療内科(2)、小児科(3)、消化器外科(8)、大腸肛門外科(2)、乳腺外科(2)、呼吸器外科(1)、救急科(1)、整形外科(13)、脳神経外科(1)、皮膚科(3)、泌尿器(3)、眼科(2)、耳鼻咽喉科(5)、リハビリテーション科(2)、麻酔科(7)、放射線診断科(2)、放射線治療科(1)、病理診断科(2)、健康診断部(2)、臨床検査科(1)、歯科(2) 計109人(専攻医含む。初期研修医のぞく)
指導医数	61人
一日平均入院患者数	343.8人(令和4年度)
一日平均外来患者数	956.7人(令和4年度)
年間救急搬送患者数	3,089人(令和4年度)
アクセス	【バス】(仙台駅バスプール2~4番乗り場)黒松団地・地下鉄泉中央駅方面行き、台原入口下車 【JR】仙山線 北仙台駅下車、徒歩10分 【地下鉄】南北線 台原駅下車、徒歩10分



病院の特徴

◆特徴

当院は、全国展開する労災病院のうちのひとつで、勤労者と地域住民の皆様の健康を守る病院として、地域の急性期医療を主体的に展開しています。特徴として、消化器系と整形外科とで多くの病床を確保しています。内科は、幅広い診療領域をカバーし、スタッフが充実しています。外科では消化器癌手術と腹腔鏡下手術を中心に高い技術を誇ります。整形外科は、東北有数の人工関節手術実施施設であり、その他耳鼻咽喉科も多くの人工内耳埋込術実施件数を誇ります。がん診療については、地域がん診療連携拠点病院として、がんの検診と診断から手術、化学療法、放射線療法、職場復帰そして緩和医療までがんに関して総合的に治療できる体制を整えています。

◆指定状況

二次救急医療機関、臨床研修指定病院、災害拠点病院、地域がん診療連携拠点病院、地域医療支援病院、日本医療機能評価機構認定病院、NPO法人卒後臨床研修評価認定病院

◆主な学会認定

肝臓学会、呼吸器学会、外科学会、高血圧学会、呼吸器外科学会、消化器外科学会、消化器内視鏡学会、消化器病学会、循環器病学会、整形外科学会、糖尿病学会、内科学会、内分泌学会、泌尿器科学会、病理学会、リウマチ学会、臨床腫瘍学会、乳癌学会、日本救急医学会 他

◆女性医師への支援制度

育児休業制度等があり、かつ院内保育所も完備しており働きやすい環境を取っている。

研修の概要

◆特徴

多くの診療科、専門性の高い医師が揃っていることからcommon diseaseから稀少疾患までさまざまな疾患・症例を経験でき、それぞれの深い知識が得られます。

教育体制は上級医と指導医がつく屋根瓦方式で、マンツーマン+αの手厚い指導を行います。ローテーションは、自由度が高いのが特徴です。研修の記録・評価についてはEPOC2を利用し、すべての研修について評価を行い、評価をフィードバックし、研修を改善する態度を身につけることができます。

◆年間スケジュール 61年を13分割し、4週単位でローテートします。

	1～4週	5～8週	9～12週	13～16週	17～20週	21～24週	25～28週	29～32週	33～36週	37～40週	41～44週	45～48週	49～52週
1年次	内科科						外科科	麻酔科	小児科	救命急	選択科目		
2年次	救命急	精神科	地域医療	産婦人科	選 択 科 目								

●協力型病院（科目）

東北大学病院（救急部門、産婦人科等）、東北公済病院（産婦人科）・仙台医療センター（産婦人科）・横浜労災病院（産婦人科）、東北会病院（精神科）、広南病院（脳血管内科）、秋田労災病院（地域医療）、宮城県立こども病院（小児科）、JCHO仙台病院（一般外来）、東北医科薬科大学病院（各診療科）

●協力施設

仙台往診クリニック（地域医療）、松田病院（地域医療）、富谷中央病院（地域医療）

たんぼぼクリニック（地域医療、令和6年度より）

仙台市保健所・宮城県赤十字血液センター（保健・医療行政）

◆研修医数（2023年4月現在）21年次8人（男性5人、女性3人）22年次10人（男性6人、女性4人）

◆研修終了後の進路 当院専攻医（内科、整形外科）、東北大学病院、神戸大学病院、昭和大学病院附属東病院、岩手医科大学病院、仙台医療センター等

処遇

身分	初期研修医（嘱託職員）
給与	1年次 月額44万円程度 2年次 月額49万円程度（各諸手当を含む）
賞与	1年次 133,000円～2年次～177,000円（令和4年度実績）
当直	1年次 月4回 2年次 月4回
保険	健康保険、厚生年金、確定拠出型年金、労災保険、雇用保険、医師賠償責任保険【病院加入あり・個人加入任意】
宿舍	宿舍及び借り上げ宿舍 有（1K、自己負担11,000円～22,000円） 自己で賃借の場合 上限28,000円の補助あり
その他	院内保育所（7：30～19：00）あり

募集要項

募集定員	10人
応募資格	第118回医師国家試験受験予定者
選考方法	書類審査、面接、小論文
申込期間	2023年7月下旬まで随時
試験日	2023年8月（決定次第、当院HPに掲載）
病院見学	随時（下記URLの病院見学申込みフォームから申込みください。）
連絡先	〒981-8563 宮城県仙台市青葉区台原4-3-21 総務課（担当：藤井、阿部、草苺） 電話：022-275-1111 FAX：022-275-4431 E-mail：kensyu@tohokuh.johas.go.jp URL：https://www.tohokuh.johas.go.jp/index.html

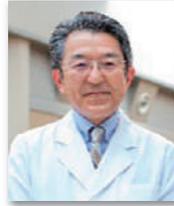


仙台医療圏

東北大学病院

仙台市青葉区星陵町1番1号

マッチング募集定員 **36人**



院長
張替 秀郎

東北大学病院の初期研修プログラムの特徴は、研修医自らが自由度の高い研修プログラムを組み立てることができる点、多様な研修協力病院でプライマリ・ケアから先進医療まで広く体験できる点があげられます。伝統ある研修指導を通じて、患者さんに優しく、真に実践力のある臨床医を育てます。

病院の概要

(令和5年4月1日現在)

開設者	国立大学法人 東北大学 総長 大野 英男
病床数	1,160床 (一般1,118床、精神40床、感染症2床)
診療科目 (常勤医師数)	循環器内科 (19)、総合感染症科 (4)、腎臓・高血圧内科 (8)、血液内科 (9)、リウマチ膠原病内科 (7)、糖尿病代謝・内分泌内科 (17)、消化器内科 (22)、加齢・老年病科 (4)、心療内科 (2)、呼吸器内科 (17)、腫瘍内科 (10)、総合外科 (56)、心臓血管外科 (8)、整形外科 (22)、形成外科 (11)、麻酔科 (22)、緩和医療科 (5)、呼吸器外科 (12)、産科・婦人科 (23)、泌尿器科 (12)、脳神経内科 (18)、脳神経外科 (8)、精神科 (20)、小児科・小児腫瘍科 (30)、遺伝科 (3)、皮膚科 (14)、眼科 (25)、耳鼻咽喉・頭頸部外科 (19)、リハビリテーション科 (14)、放射線科 (39)、救急科 (15)、総合診療科、漢方内科 (9)、歯科部門 (109) 計613人
指導医数	268人 (指導医講習会受講済数)
一日平均入院患者数	3,825人 (令和4年度)
一日平均外来患者数	2,534人 (令和4年度)
年間救急搬送患者数	2,586人 (令和4年度)
アクセス	地下鉄北四番丁駅下車 北2出口より八幡町方面徒歩10分 仙台市営バス、宮城交通バス 大学病院前下車すぐ。 仙台駅からタクシーで20分位。



病院の特徴

◆特徴

「社会の要請に応える開かれた病院」、「最先端の医療技術の開発・応用・評価」、「着実かつ独創的な研究の推進」、「人間性豊かな医療人の養成」、「患者の人間性を尊重した全人的医療と高度に専門化した先進的医療の調和」、これらの基本理念をもとに、『患者さんに優しい医療と先進医療との調和を目指した病院』づくりを進めています。

◆指定状況

特定機能病院、宮城県災害拠点病院、がん診療連携拠点病院、小児がん拠点病院、造血幹細胞移植推進拠点病院、がんゲノム医療中核拠点病院、第三次救急医療機関、基幹型臨床研修指定病院、等

◆主な学会認定

日本内科学会、日本小児科学会、日本皮膚科学会、日本精神神経学会、日本外科学会、日本整形外科学会、日本産科婦人科学会、日本眼科学会、日本耳鼻咽喉科学会、日本泌尿器科学会、日本脳神経外科学会、日本医学放射線学会、日本麻酔科学会、日本病理学会、日本臨床検査医学会、日本救急医学会、等ほとんどすべての学会

◆女性医師への支援制度

- 【女性休憩室】あり
- 【託児施設】保育園(敷地外、常時・一時・延長・終夜保育)、病後児保育室あり。
- 【妊娠時】通院時間の確保、通勤緩和、深夜勤務等の就業制限、業務軽減。
- 【出産時】産前及び産後休暇各8週間取得可能。
- 【出産後】育児休業、育児短時間勤務、子の看護休暇、時間外勤務の制限

研修の概要

◆特徴

東北大学病院の初期研修は、当院と様々な規模の臨床研修協力病院・施設を組み合わせ、自分だけの研修スケジュールを作成することができます。これにより大学病院での高度先進医療と、プライマリ・ケアの両方を経験できます。地域医療により関心のある方は、宮城県内の中核病院を中心に複数の医療施設で研修する「地域医療重点プログラム」、基礎医学研究に意欲のある方には、「基礎研究医プログラム」をお勧めします。

初期研修修了後は専門研修へのスムーズな移行が可能です。当院では基本19領域全ての研修はもちろん、多数のサブスペシャリティ領域の研修も整備しております。初期研修、専門研修、その後の生涯研修がシームレスに繋がる当院で、医師としての第一歩を踏み出しましょう。



◆年間スケジュール ※1ヶ月単位の研修を行います。

※東北大学病院自由選択プログラム（例）

	1～4週	5～8週	9～12週	13～16週	17～20週	21～24週	25～28週	29～32週	33～36週	37～40週	41～44週	45～48週	49～52週
1年次	内科科 本院・協力病院						救急 本院・協力病院		必修科(外科・小児・産婦・精神) 本院・協力病院				
2年次	地域医療・外来	救急 本院	自由選択 本院・協力病院・協力施設										

※地域医療重点プログラム（例） ※本プログラムで研修を行った場合、本院以外の研修期間は宮城県医学生修学資金の義務年限とみなします。

	1～4週	5～8週	9～12週	13～16週	17～20週	21～24週	25～28週	29～32週	33～36週	37～40週	41～44週	45～48週	49～52週
1年次	本院（必修科・選択科）								石巻赤十字病院、大崎市民病院、みやぎ県南中核病院から1施設選択				
2年次	石巻赤十字病院、大崎市民病院、みやぎ県南中核病院から1施設選択			気仙沼市立病院、登米市民病院、栗原中央病院、刈田総合病院から1施設選択				本院（必修科・選択科）					

※地域医療重点プログラムでは他院研修中に地域医療（2ヶ月必須）、一般外来研修を行います。

- このほか、東北大学病院小児科・産婦人科プログラム、基礎研究医プログラムがあります。
- 協力型病院 仙台医療センター、仙台市立病院、みやぎ県南中核病院、大崎市民病院、石巻赤十字病院、気仙沼市立病院等
- 協力施設 南三陸病院、気仙沼市立本吉病院、岩手県立高田病院、仙台市生出診療所等

◆研修医数（R5.4.1現在） 1年次 20人（男性13人、女性7人） 2年次 20人（男性15人、女性5人）

◆研修修了後の進路 当院専攻医、東北大学大学院、他院専攻医、他大学大学院 等

処遇

身分	准職員 医員（研修医）
給与	月額9,075円+諸手当 *1年次・2年次とも 月額350,000円程度（税込）の収入が見込まれます。
賞与	1年次・2年次 年額（税込）0円
当直	1年次・2年次 月5回
保険	共済保険、厚生年金保険、労災保険、雇用保険、医師賠償責任保険【病院加入あり・個人加入要】
宿舎	有（1K、単身者用60室、使用料15,000円（インターネット使用料込、光熱水料別）、2014年3月竣工、免震構造）
その他	保育園（敷地外、常時・終夜・一時保育）、病後児保育室（院内7：30～18：00予約制）あり

募集要項

募集定員	38人（基礎研究医プログラム2名含む・マッチングとは別枠）
応募資格	医師臨床研修マッチング参加者 *基礎研究医プログラムの応募資格は別途HP参照
選考方法	面接試験、適性検査 *基礎研究医プログラムの選考方法は別途HP参照
申込期間	決定次第、東北大学病院卒後研修センターホームページに掲載します。
試験日	詳細は東北大学病院卒後研修センターホームページをご覧ください。
病院見学	随時可
連絡先	卒後研修センター TEL：022-717-7765 FAX：022-717-7143 E-mail：hos-sotu@grp.tohoku.ac.jp URL：http://www.sotuken.hosp.tohoku.ac.jp/



仙台医療圏

JCHO仙台病院

宮城県仙台市泉区紫山

マッチング募集定員6人



院長
村上 栄一

当院の医局は全科が同じフロアーにあり、科ごとの垣根が低く、余分な配慮を必要としない病院です。当院には情熱を持った指導医がおり、プログラムも工夫されております。症例をたくさん経験して、実の取れる研修ができると思います。一緒に、楽しく、患者さんのための医療を提供してきましょう!

病院の概要

(令和5年4月1日現在)

開設者	独立行政法人 地域医療機能推進機構 理事長 山本 修一
病床数	一般384床
診療科目 (常勤医師数)	総合診療科(2)、高血圧・糖尿病(1)、消化器科(3)、循環器科(3)、小児科(3)、外科・血管外科・移植外科・乳腺外科(9)、整形外科(7)、皮膚科(1)、泌尿器科(5)、腎臓内科(10)、婦人科(1)、眼科(1)、耳鼻咽喉科(2)、放射線科(1)、麻酔科(4)、歯科・歯科口腔外科(2)、健診センター(1)、検査部(1)、専攻医(3)、初期研修医(10) 計70人
指導医数	34人
一日平均入院患者数	291.8人(令和4年度)
一日平均外来患者数	449.0人(令和4年度)
年間救急搬送患者数	2,041人(令和4年度)
アクセス	仙台駅から宮城交通バスで約50分、または地下鉄で泉中央駅に移動し宮城交通バスで約20分、お車は泉パークタウン方面へ。詳しくはHPをご参照ください。



病院の特徴

◆特徴

JCHO仙台病院は歴史的に腎臓病を診療の核としており、現在も腎センターは東北地方の最後の砦としての診療業務の傍ら世界レベルでの論文発表を続けています。その地力を生かしながら、初期臨床研修については経験疾患が偏ることのないよう配慮し、協力病院の支援も得て多彩な疾患の経験、多様なセッティングでの診療の機会を用意することができました。2021年5月に新病院移転を果たし、救急部門・小児科も院内研修が可能となるなど今まさに追い風吹くJCHO仙台病院。活力ある皆様のご応募を病院職員一同お待ちしております。

◆指定状況

臨床研修指定病院(基幹型)、救急告示病院、病院群当番制事業参加病院、DPC対象病院、東北大学病院地域医療連携施設登録機関

◆主な学会認定

日本内科学会認定医制度教育関連病院、日本外科学会認定医制度修練施設、日本腎臓学会研修施設、日本整形外科学会認定研修施設、日本泌尿器科学会専門医教育施設、日本超音波医学会超音波専門医研修施設、日本麻酔科学会認定研修施設、日本がん治療認定医機構認定研修施設

◆女性医師への支援制度

院内保育所完備、専用休憩室

研修の概要

◆特徴

本研修プログラムの特色の第一は、1年次に内科系、外科系（麻酔科を含む）を半年ずつ配し、内科・外科それぞれの基本的診療能力や考え方の土台を身に付けてもらう十分な期間を確保した点が挙げられる。半年の長きにわたり内科あるいは外科という一つの臨床文化に染まることで、学生時代のような短期間のローテーションとは異なる形での診療能力の獲得と、自分なりの思考力の形成に努めてもらいたい。

次に、必修期間内も含めて、研修医が選択できるローテーションの選択肢が広い点が挙げられる。内科・外科の中でのサブスペシャリティの選択や、地域医療における在宅診療所・農村型小規模慢性期病院・都市型慢性期病院の選択、さらに約6か月間の自由選択期間を含めると、本プログラムの拡張可能性は無限大である。是非自らの目指す将来像にあった、自分だけの研修計画を立てて実行してもらいたい。

最後に、6ヶ月の自由選択期間を配したことによりスペシャリストへの第一歩を踏み出す機会を用意した。初期臨床研修と専門医研修は決して断絶するものではなく、むしろ有機的につながるべきである。当院が特色を持って診療を展開している分野に将来を見据える者は、是非積極的に専門的な内容にチャレンジしてもらいたい。ただし、当院はgeneral physicianとしての素養を十分に身に付けたものしか真の専門医にはなりえないという文化を持っており、専門領域以外への真摯な研修姿勢は一層求められる。

◆年間スケジュール

ローテーション例（順番は任意）

1年次	内科系診療科 26週					麻酔科 8週	外科系診療科 16週
2年次	救急 8週	産婦 4週	小児 4週	精神 4週	地域 4週	外来2~4週	自由選択 6 24~26週

●協力型臨床研修病院・研修協力施設群

- ・仙台オープン病院（救急部門・消化器科・呼吸器科）・仙台市立病院（小児科）
- ・東北公済病院（産婦人科）・東北大学病院（小児科・産婦人科）・仙台赤十字病院（小児科・産婦人科）
- ・国見台病院（精神科）・東北医科薬科大学病院（精神科）・仙台医療センター（脳神経内科、脳神経外科）
- ・東北福祉大学せんだんホスピタル（精神科）・こだまホスピタル（精神科）
- ・栗原市立若柳病院（地域医療）・松田病院（地域医療）・真壁病院（地域医療）
- ・JCHO秋田病院（地域医療）・あおぞら在宅診療所富谷仙台（地域医療）

◆研修医数（R5.4.1現在） 1年次 6人 2年次 4人

◆研修修了後の進路 当院で内科専門研修、近隣機関での専門研修

処遇

身分	任期付職員（初期研修医）
給与	〔見込〕 1年次：465,830円 2年次：485,430円
賞与	〔見込〕 1年次：707,590円 2年次：1,257,720円
当直	1年次 月約4回 2年次 月約4回
保険	健康保険、厚生年金、労災保険、雇用保険、医師賠償責任保険【病院加入あり・個人加入任意】
宿舎	無
その他	健康診断年2回、予防接種

募集要項

募集定員	6人
応募資格	2024年4月より初期臨床研修を開始見込みの、医学部6年生・卒業生あるいは日本国の医師免許を有する（予定の）者（第118回（令和6年実施）医師国家試験受験予定者）
選考方法	面接
申込期間	令和5年8月4日まで
試験日	令和5年9月3日
病院見学	soumu@sendai.jcho.go.jpに「病院見学希望」のタイトルでメールにて申し込み
連絡先	〒981-3281 宮城県仙台市泉区紫山2-1-1 総務企画課（担当：加藤・小西） 電話：022-378-9111 FAX：022-378-9131 E-mail：soumu@sendai.jcho.go.jp URL：http://sendai.jcho.go.jp



仙台医療圏

仙台厚生病院

仙台市青葉区広瀬町

マッチング募集定員6人



院長
山内 淳一郎

医師としての第一歩を踏み出す時の研修病院のレベルの高さは、その人の医師人生を大きく左右します。最初に見る「峰」はできるだけ高い方が自らの目標や針路を見つけやすいものです。単なる専門医ではなく、「一流の」専門医を目指す志の高い諸君を心から歓迎します。

病院の概要

(令和5年4月1日現在)

開設者	一般財団法人 厚生会 理事長 目黒泰一郎
病床数	一般409床
診療科目 (常勤医師数)	循環器内科 (24)、不整脈科 (5)、心臓血管外科 (6)、呼吸器内科 (22)、呼吸器外科 (4)、消化器内科 (17)、消化器外科 (9)、肝臓内科 (4)、化学療法センター (1)、精神科 (1)、放射線科 (5)、麻酔・集中治療科 (7)、総合健診センター (4)、病理診断・臨床検査科 (4) 計113人
指導医数	38人
一日平均入院患者数	390.9人 (令和4年度)
一日平均外来患者数	468.5人 (令和4年度)
年間救急搬送患者数	5,975人 (令和4年度)
アクセス	バス：仙台駅バスプール (10) (15) 番乗り場より大学病院・八幡町経由に乗車「厚生病院前」下車、仙台駅バスプール (16) 番乗り場より大学病院経由に乗車「厚生病院前」下車 地下鉄：北四番丁駅・国際センター駅下車徒歩15分 車：仙台駅から15分、仙台宮城ICより10分

病院の特徴

◆特徴

<地域医療支援病院>

高度先進医療と救急医療に力を入れ、診療所や病院との連携を強め、1,400名を超える登録医の先生方からの紹介患者、救急患者を中心に診療を行っています。

<3センターの手術数は東北トップクラス>

心臓血管センターは虚血性心疾患 (狭心症、心筋梗塞) で全国トップクラスの症例数を誇り、またカテーテル手術件数では全国ベスト10にランクインしています。経カテーテル的大動脈弁植込み術も早くから行っており、2021年には266例実施しています。心臓バイパス手術も東北1位の実績があり、消化器センターでは胃がん内視鏡手術数が東北1位、大腸がん内視鏡治療数が東北2位、肝がんアブレーション治療数は東北1位 (全国2位)、呼吸器センターでは肺がん手術数が東北1位、その他の部門でも常に上位の実績を誇っています。

<モバイルCCU>

1分1秒を争う救急患者のもとへ医師と看護師が乗り込み、救急車内で治療が可能となるモバイルCCUが稼働しています。心筋梗塞治療に威力を発揮します。

◆指定状況

地域医療支援病院、臨床研修指定病院、二次救急指定病院、宮城県難病地域拠点病院、日本品質保証機構ISO9001マネジメントシステム認証

◆主な学会認定

日本内科学会認定医制度教育病院、日本循環器学会循環器専門医研修施設、日本心血管インターベンション治療学会研修施設、三学会構成心臓血管外科専門医認定機構基幹施設、日本外科学会外科専門医制度修練施設、日本呼吸器内視鏡学会専門医制度認定施設、日本呼吸器学会認定施設、日本消化器内視鏡学会指導施設、呼吸器外科専門医制度認定基幹施設、日本消化器病学会専門医制度認定施設、日本消化器外科学会専門医修練施設、日本医学放射線学会放射線科専門医修練機関、日本麻酔科学会麻酔科認定病院、日本消化器がん検診学会認定指導施設、日本感染症学会研修施設、日本がん治療認定医機構認定研修施設、日本核医学会専門医教育病院、日本臨床腫瘍学会認定研修施設、ステントグラフト実施施設 (腹部・胸部大動脈瘤)、日本肝胆膵外科学会肝胆膵高度技能専門医修練施設A、日本超音波医学会認定超音波専門医制度研修施設、日本病理学会研修認定施設、日本不整脈心電学会認定不整脈専門医研修施設、日本カプセル内視鏡学会指導施設、経カテーテル的大動脈弁置換術実施施設、日本臨床細胞学会教育研修施設、浅大腿動脈ステントグラフト実施施設、日本集中治療医学会専門医研修施設、下肢静脈瘤に対する血管内焼灼術の実施基準による実施施設、日本肝臓学会認定施設、JCOG参加施設認定、日本放射線腫瘍学会認定施設、経皮的僧帽弁接合不全修復システム実施施設、経カテーテル的大動脈弁置換術指導施設、日本成人先天性心疾患学会成人先天性心疾患専門医連携修練施設、日本循環器学会左心耳閉鎖システム実施施設、IMPELLA補助循環用ポンプカテーテル実施施設、日本心臓血管麻酔学会心臓血管麻酔専門医認定施設、経皮的動脈管閉鎖術施行施設、経皮的心房中隔欠損閉鎖術施行施設、潜性脳梗塞に対する卵円孔開閉術実施施設、日本腹部救急医学会腹部救急認定医・教育医制度認定施設

◆女性医師への支援制度

院内保育所：開園時間 7:30~19:00 (延長・泊有) 生後9週~就学前の子を対象 (定員59人)
子宮頸がんワクチン接種 (希望者のみ/院外接種、費用病院負担)

研修の概要

◆特徴

当院は総合病院方式をとらず、心臓血管・呼吸器・消化器の大型3センターに人材と医療資源を集中投入し、これらの領域における最高水準の診断と治療を提供しています。各センターはわが国でその領域を代表する医師を中心とした高度かつ大型のチーム体制を敷き、最先端の機器を導入して診療にあたっています。小児科や交通外傷、脳血管疾患、産婦人科、精神科については協力病院での研修となりますが、いずれも地域最高レベルの病院を選択しています。これは1診療科あたりの症例及びスタッフ数が制限されがちな総合病院では得られない体験となることでしょう。また、2009年度から麻酔科指導医のもと中心静脈カテーテル挿入プログラムを導入し、安全かつ確実な技術の習得を図っています。



最初のオリエンテーションで医師として基本的な知識、手技を修得する時期を設けており、自信を持って診療科ローテーションに入ることができます。さらに、6人当直体制により救急体制も充実しており、月に約4回ある副当直時には、各科の指導医とともに診察を行うことができます。各科ではハイレベルな症例が多く集まるので、1人あたりの経験できる症例は東北随一です。また、各種学会の専門医・認定医の指導施設であるため、内科を希望する研修医は、臨床研修修了後は内科専攻医として専門医等を目指しながら、さらに研鑽を積む選択肢も用意されています。福利厚生の一環として完成した職員宿舎は研修医から大変好評で、さらなる快適な研修生活を提供できることと確信しています。

◆年間スケジュール

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年次	(入職時オリエンテーションあり) 内科科科						外科科科			救命命急		
2年次	産婦人科	小児科	精神科	地域医療 一般外来		自由選択 (必修及び選択必修科目、心臓血管外科、放射線科、麻酔科、病理診断・臨床検査科など複数選択可能)						

●協定型病院 (科目)

東北大学病院 (産婦人科)、宮城県立こども病院 (小児科)、宮城県立精神医療センター (精神科)、総合南東北病院 (救急、麻酔科)、気仙沼市立病院 (救急)、広南病院 (脳血管内科、脳神経外科)、JCHO仙台病院 (救急、腎センター内科)、石巻赤十字病院 (救急)、岩手県立磐井病院 (救急、小児科、産婦人科)

注) 救急部門は、仙台厚生病院・総合南東北病院・気仙沼市立病院・JCHO仙台病院・石巻赤十字病院・岩手県立磐井病院のいずれかで研修

●協力施設

宏人会木町病院、羽二生クリニック、仙台往診クリニック、宮城県赤十字血液センター、古川星陵病院、永仁会病院、仙石病院、涌谷町国民健康保険病院

◆研修医数 (R5.4.1現在) 1年次 5人 (男性4人) 2年次 2人 (男性2人)

◆研修修了後の進路 当院内科専攻医または他施設へ

処遇

身分	常勤職員
給与	1年次 月額 (税込) 456,000円 / 2年次 月額 (税込) 524,000円 (当直・超過勤務手当含む、但し個人差あり)
賞与	1年次 年額 (税込) 1,080,000円 2年次 年額 (税込) 1,185,000円
当直	1年次 月4回 2年次 月4回
保険	健康保険、厚生年金、労災保険、雇用保険、医師賠償責任保険【病院加入あり・個人加入任意】
宿舎	有 (1LDK) ※詳細はホームページをご覧ください。
その他	院内保育所：開園時間 7:30~19:00 (延長・泊有) 生後9週~就学前の子を対象 (定員59人)

募集要項

募集定員	6人
応募資格	第118回 (2024年実施) 医師国家試験受験予定者、マッチングプログラム参加者
選考方法	書類審査、面接
申込期間	2023年9月頃まで (ホームページをご覧ください)
試験日	2023年8月頃~順次実施予定
病院見学	随時
連絡先	〒980-0873 宮城県仙台市青葉区広瀬町4-15 総務部庶務課 (医学教育支援室担当) 電話：022-222-6181 FAX：022-267-0856 E-mail：kenshu@sendai-kousei-hospital.jp URL：http://www.sendai-kousei-hospital.jp/



仙台医療圏

東北公済病院

仙台市青葉区国分町

マッチング募集定員6人



院長
仁尾 正記

当院は中規模病院ですが上級医が充実しており、その指導の下にできる限り「臨床は体で覚える」を研修の根本としています。仙台の中心部にあり、地域の診療所との連携さらには地域住民との繋がりを重視しております。また、虎ノ門病院を中心として32の連合会病院ネットワークの中で、シミュレーションラボセンターでの研修など、独特なプログラムを構築することもできますので、厳しい中にも充実感を感じる研修期間を過ごすことができると確信しています。

病院の概要

(令和5年4月1日現在)

開設者	国家公務員共済組合連合会 理事長 松元 崇
病床数	一般385床
診療科目 (常勤医師数)	内科(消化器内科・腎臓内科・内分泌代謝内科)(13)、循環器内科(2)、外科(消化器外科・乳腺外科)(9)、小児科(3)、整形外科(4)、麻酔科(7)、産科・婦人科(9)、眼科(2)、耳鼻いんこう科(3)、泌尿器科(2)、歯科口腔外科(2)、形成外科(3)、リハビリテーション科(2)、病理診断科(1) 計62人
指導医数	35人
一日平均入院患者数	1,243人(令和4年度)
一日平均外来患者数	9,542人(令和4年度)
年間救急搬送患者数	2,310人(令和4年度)
アクセス	仙台駅より徒歩20分、地下鉄南北線広瀬通駅下車徒歩7分 東北自動車道仙台宮城ICから車で10分



病院の特徴

◆特徴

当院は中規模病院ですが、仙台市内の中心部にあり、地域の診療所との連携、さらには地域住民とのつながりを重視しております。上級医、指導医が充実しており、この規模の病院としては珍しく各科の垣根が低く、他科の医師同士も非常に仲がよいので気軽に相談しやすいのが特徴です。また、女性医師が多く在籍しており、女医さんが他のスタッフに気兼ねなく働きやすい環境になっており、女性研修医も受け入れやすい状況です。ほかの大規模病院に比べると経験する症例数は多少少ないかもしれませんが、その分しっかり指導医から教育する時間がとれますし、研修医自身の自分の時間も十分にもてる環境だと思えます。一例一例じっくりと熟考しながら患者さんを診ることがのできるのも、臨床研修に多少自信のない方にも快適な研修生活を送ることができると自負しております。



◆指定状況

第二次救急医療機関、基幹型臨床研修病院、BFH認定施設、日本医療機能評価機構認定

◆主な学会認定

日本内科学会、日本外科学会、日本消化器外科学会、日本整形外科学会、日本消化器病学会、日本乳がん学会、日本眼科学会、日本超音波医学会、日本産科婦人科学会、日本麻酔学会、日本泌尿器科学会、日本臨床細胞学会、日本耳鼻いんこう科学会、日本消化器内視鏡学会、日本循環器学会、日本周産期・新生児医学会、日本高血圧学会、日本形成外科学会、日本がん治療学会



◆女性医師への支援制度

- ・院内保育所完備
- ・産前休暇(産前6週間)、産後休暇(産後8週間)、育児休業、育児短時間勤務、子供の看護休暇などの取得が可能



研修の概要

◆特徴

当院の研修プログラムは「総合プログラム」および「産婦人科研修先行プログラム」の2種類から選択できる。選択科目は研修医自身の希望でフレックスプログラムにすることが可能である。当院の特徴としては、どの科をローテーションしていても、各科の垣根が低いので他の科の指導医に相談しやすいことである。また、当院産婦人科は東北有数の分娩数、乳腺外科は東北一の手術件数を誇っており、「産婦人科研修先行プログラム」は女性医療を希望する研修医にとってはうってつけのプログラムである。勤務している女性医師の数が総医師数の約3分の1と割合が高く女性医師が働きやすい環境であるといえる。

さらに救急研修にあたっては、症例数の豊富な仙台市立病院又は石巻赤十字病院又は東北大学病院において研修を行う。精神科研修は仙台市内の東北会病院または国見台病院、地域研修としては仙台市内の定禅寺フローレンスクリニック、あんどろクリニック、永井産婦人科、南三陸町の町立南三陸病院または東京都の離島にある町立八丈病院と異なった環境での研修が可能である。初期研修医の募集定員をあえて6名とすることで、しっかり最後まで指導できる体制としている。

◆年間スケジュール

【総合プログラム】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年次	内科科						麻酔科		外科科		救命急	
2年次	地域医療	精神科	小児科	産婦人科	自由選択または選択必修							

【産婦人科研修先行プログラム】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年次	産婦人科			小児科		麻酔科		救命急		内科科		
2年次	内科科科				外科科		地域医療	精神科	泌尿器科	自由選択科又は選択必修科		

●協力型病院（科目）

東北大学病院（病理部・救急・剖検・CPC）、仙台市立病院（救急）、石巻赤十字病院（救急）、町立八丈病院（地域医療）、町立南三陸病院（地域医療）、定禅寺フローレンスクリニック（地域医療）、あんどろクリニック（地域医療）、東北会病院（精神科）、国見台病院（精神科）

●協力施設

永井産婦人科病院、宮城県赤十字血液センター、青葉区保健福祉センター

◆研修医数（R5.4.1現在） 1年次 5人（男性4人、女性1人） 2年次 6人（男性4人、女性2人）

◆研修終了後の進路 当院で後期研修、東北大学大学院、仙台医療センター、福島県立医科大学等

処遇

身分	非常勤職員
給与	1年次 月額（税込）486,000円／2年次／月額（税込）571,000円
賞与	無
当直	1年次 月4～5回 2年次 月4～5回
保険	健康保険、厚生年金、労災保険、雇用保険、医師賠償責任保険【病院加入あり】
宿舎	無（住宅手当月額28,000円まで支給）
その他	Medical Online、医中誌などWeb閲覧可能、院外BLS、ACLSなどの受講料補助制度あり、学会への参加費用支給あり、健康診断年2回、予防接種、院内保育所あり

募集要項

募集定員	6人
応募資格	第118回（2024年実施）医師国家試験受験予定者、マッチングプログラム参加者
選考方法	書類審査、面接
申込期間	令和5年8月18日まで随時
試験日	令和5年8月下旬頃予定（相談に応じます）
病院見学	随時対応いたしますのでお気軽にご連絡ください。
連絡先	〒980-0803 宮城県仙台市青葉区国分町2-3-11 臨床研修事務局（担当：佐々木） 電話：022-227-2211 FAX：022-263-8069 E-mail：mi-sasaki@tohokukosai.com URL：https://tohokukosai.kkr.or.jp/



仙台医療圏

仙台医療センター

仙台市宮城野区宮城野

マッチング募集定員24人（うち産婦人科・小児科コース4人）



院長
江面 正幸

令和元年5月1日改元の日に新築移転しました。東北大学病院とドクヘリ共同運航を行っている基地病院です。救命救急センター30床、基幹災害拠点病院などの機能を備える県を代表する急性期病院です。優秀なスタッフにより先進医療を提供しており充実した研修環境を提供します。初期研修のコースはこれまでの総合コースと、令和6年度より産婦人科・小児科コースが新設されます。やる気のある研修医に来ていただきたいと思っています。

病院の概要

(令和5年4月1日現在)

開設者	独立行政法人 国立病院機構 理事長 楠岡 英雄
病床数	660床（一般628床、精神32床）
診療科目 (常勤医師数)	総合診療科（3）、内分泌・代謝内科（3）、血液内科（4）、脳神経内科（4）、呼吸器内科（5）、消化器内科（8）、循環器科（5）、感染症内科（2）、腫瘍内科（3）、緩和ケア内科（2）、小児・新生児科（6）、外科（10）、乳腺外科（1）、整形外科（5）、形成外科（3）、脳神経外科（4）、呼吸器外科（3）、小児外科（1）、心臓血管外科（3）、皮膚科（2）、泌尿器科（3）、産婦人科（8）、眼科（3）、耳鼻咽喉科・頭頸部外科（3）、放射線科（6）、麻酔科（8）、救急科（3）、精神科（5）、臨床検査科（4）、腎臓内科（1） 計165人
指導医数	93人
一日平均入院患者数	488.9人（令和4年度）
一日平均外来患者数	969.3人（令和4年度）
年間救急搬送患者数	5,719人（令和4年度）
アクセス	JR仙台駅から仙石線に乗車し宮城野原駅下車（乗車時間4分） 東出入口2に隣接



令和元年5月1日
新病院開院



充実した勉強会

病院の特徴

◆特徴

<基本理念>

最善の医療を尽くして社会に貢献します。
患者さんにやさしく働きがいのある病院を目指します。

<基本方針>

1. 安全で良質な医療の提供
2. 継続的な質の改善
3. 高度総合医療の提供
4. 地域との医療連携と情報共有
5. 国際レベルの臨床と研究の推進
6. 情操豊かな職員を育む
7. 職場環境の整備
8. 健全な病院運営

◆指定状況

第三次救急医療機関、臨床研修病院、地域医療支援病院、東北ブロック災害拠点病院、宮城県基幹災害医療センター、地域がん診療連携拠点病院、東北ブロックエイズ拠点病院

◆主な学会認定

日本内科学会、日本外科学会、日本救急医学会、日本麻酔科学会、日本小児科学会、日本産婦人科学会、日本精神神経学会、日本医学放射線学会、日本病理学会、日本周産期・新生児学医会、日本眼科学会、日本皮膚科学会、日本耳鼻咽喉科学会、日本泌尿器科学会、日本神経学会、日本脳神経外科学会

◆女性医師への支援制度

院内保育所有：延長保育可（平日7：30～8：00、18：30～20：00）
土・日・祝日開園（利用者がいるときのみ8：00～18：30）
夜間保育実施（週3回）
病後児保育室有：当院職員であれば利用可（2,000円/回）
事前登録・予約制 ※利用の際、ご相談ください。

研修の概要

◆特徴

当院は仙台市の三次救急の中心を担っており、脳神経疾患、心臓疾患、多発外傷など全ての領域に渡る重症疾患が搬送されてきます。救急車搬入数は年間約5,000件におよび、初期研修医は万遍なく全ての救急疾患を経験出来ます。日当直には内科、外科、産婦人科、脳疾患、小児科の5ラインの専門医が同時に勤めるため、他科へのコンサルテーションも容易です。

学術活動の水準は特に高く維持されており、研修医が研究会や学会で報告する機会が大変多いことも特徴です。初期研修医期間中に日本語の論文を1つ作成することもカリキュラムの一つとなっています。

平成25年度からフィリピン熱帯医学研究所（マニラ）との相互研修協定に基づいて、日本では経験することのできない感染症や熱帯病の診断治療を学ぶことができるようになりました（応募者多数の時には選抜試験あり）。

◆教育体制

1. 研修医勉強会：毎週火曜日7：45am
2. CPC：毎月第4火曜日7：45pm
3. 感染症セミナー：毎月第3木曜日
4. サージカル・ラボ
5. シミュレーターによるトレーニング
6. AHAコースのBLSとACLS（必修・参加無料）
7. 各科による多彩かつ豊富なカンファランス、学会参加者病院負担

◆年間スケジュール（自治生含む）

◎総合コース

	1期	2期	3期	4期	5期	6期	7期	8期	9期	10期
1年次	総診	救急	小児	産婦	外科2期		内科自由選択4期			
2年次	総診	精神	地域	麻酔or救急	自由選択6期					

◎産婦人科・小児科コース

	1期	2期	3期	4期	5期	6期	7期	8期	9期	10期
1年次	総診	救急	小児	産婦	外科2期		内科自由選択4期			
2年次	総診	精神	地域	麻酔or救急	産婦or、and小児		自由選択4期			

●協力施設

涌谷町国民健康保険病院、登米市立上沼診療所、米沢病院、いわき病院、宮城病院、公立黒川病院、南三陸病院、栗原市立若柳病院、栗原市立栗駒病院

●海外協力施設 フィリピン熱帯医学研究所

◆研修医数（R5.4.1現在） 1年次 19人（男性14人、女性5人） 2年次 19人（男性15人、女性4人）

◆研修修了後の進路 当院専攻医、東北大学病院およびその他病院

処遇

身分	期間職員
給与	月額 1年次： 320,960円 2年次：329,000円（手当等含まない。） 年額 1年次：約7,096,000円 2年次：約7,116,000円（超過勤務手当、当直手当、その他手当、賞与等含む。）
当直	平均5回/月
保険	健康保険、厚生年金、労災保険、雇用保険、医師賠償責任保険【病院加入無・個人加入任意】
宿舎	有（月額6,000円）

募集要項

募集定員	24人（うち産婦人科・小児科コース4人）
応募資格	第118回（令和6年実施）医師国家試験受験予定者
選考方法	小論文、面接
申込期間	希望面接日の1週間前まで
試験日	8月11日（金・祝）、8月15日（火）、8月22日（火）、8月27日（日）、8月31日（木） （5回実施のうち都合のいい日を選択）
病院見学	随時（お気軽に問い合わせください）
連絡先	〒983-8520 宮城県仙台市宮城野区宮城野2丁目11-12 管理課厚生係 電話：022-293-1111 FAX：022-291-8114 E-mail：113-rinken@mail.hosp.go.jp URL：https://nsmc.hosp.go.jp/

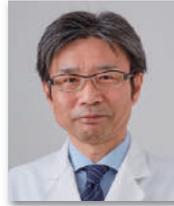


仙台医療圏

東北医科薬科大学病院

仙台市宮城野区福室

マッチング募集定員 **34**人



院長
佐藤 賢一

当院では一般的な疾患から高度な医療を要する稀な疾患まで幅広く症例を経験することができます。200名を超える指導医には若い医師が多く、教育システムも充実しています。令和5年度は27人の臨床研修医と38人の専攻医が在籍しており、とても学びやすい環境です。当院で私達と一緒に働きませんか、心よりお待ちしております。

病院の概要

(令和5年4月1日現在)

開設者	学校法人 東北医科薬科大学 理事長 高柳 元明
病床数	600床 (一般554床、精神46床)
診療科目 (常勤医師数)	循環器内科(8)、呼吸器内科(5)、消化器内科(13)、糖尿病代謝内科(5)、腎臓内分泌内科(11)、血液・リウマチ科(9)、総合診療科(6)、脳神経内科(6)、腫瘍内科(3)、感染症内科(5)、精神科(5)、小児科(5)、肝胆膵外科(5)、消化器外科(8)、がん治療支援(緩和)科(3)、呼吸器外科(7)、乳腺・内分泌外科(2)、心臓血管外科(6)、整形外科(6)、脳神経外科(4)、皮膚科(3)、眼科(6)、耳鼻咽喉科(6)、産婦人科(4)、泌尿器科(4)、形成外科(3)、放射線科(8)、麻酔科(4)、リハビリテーション科(2)、救急科(5)、病理診断科(3)、その他(4) 計174人
指導医数	151人
一日平均入院患者数	3,423人 (令和4年度)
一日平均外来患者数	3,967人 (令和4年度)
年間救急搬送患者数	3,887人 (令和4年度)
アクセス	JR仙石線 陸前高砂駅から徒歩7分



病院の特徴

◆特徴

平成28年4月に新設された大学病院です。仙台市内および近隣自治体から広く患者を受け入れています。もともと市中病院であったことから、地域医療への貢献を重視しており、一般的な疾患を診察する機会も多く、プライマリ・ケアの研修に適しています。診療科間の垣根が低く、コメディカルも含め良好な連携ができるのも特徴のひとつです。その一方で、幅広い診療科と豊富な指導医、ダ・ヴィンチをはじめとする最新の医療機器など、大学病院としての高度医療機能の充実を図っています。ハイブリッド手術室やバイオクリーンルームを含めた手術室9室などを備えた新大学病院棟が稼働を始め、これまで以上に高度で先進的な医療の提供が可能となっています。これまで地域医療へ果たしてきた役割をさらに強化・充実させるとともに、地域医療に貢献できる優秀な医師を育成、さらには、高度医療や研究にも力を注ぎながら、大きく成長していくことを目指しています。

◆指定状況

地域医療支援病院、地域がん診療連携拠点病院、救急告示病院、災害拠点病院、宮城県難病診療分野別拠点病院(血液系、免疫系)、宮城県難病地域拠点病院、宮城DMAT指定病院、仙台市認知症疾患医療センター指定病院、高次脳機能障害支援拠点病院、結核指定医療機関、生活保護法指定医療機関、労災保険指定医療機関など

◆主な学会認定

日本病院総合診療医学会、日本循環器学会、日本消化器病学会、日本呼吸器学会、日本糖尿病学会、日本腎臓学会、日本神経学会、日本リウマチ学会、日本救急医学会、日本麻酔科学会、日本外科学会、日本消化器外科学会、日本肝胆膵外科学会、日本乳癌学会、日本精神神経学会、日本婦人科腫瘍学会、日本整形外科学会、日本脳卒中学会、日本眼科学会、日本耳鼻咽喉科学会、日本泌尿器科学会、日本皮膚科学会、日本リハビリテーション医学会、日本病理学会など

◆女性医師への支援制度

保育園完備、育児休業制度、時間短縮勤務制度等あり

研修の概要

◆特徴

- 内科研修：当院の10の内科系診療科または協力病院の内科系診療科で研修を行います。
- 総合診療科研修：約2ヵ月間の研修で、専門疾患に偏らない複数の疾患、複雑な背景を抱えた患者さんの診療について学びます。
- 救急研修：当院は2次救急医療機関ですが、時に3次救急相当の重症患者も積極的に診察しています。walk-inから救急搬送、Common DiseaseからCPAまで多彩な症例に対応した当院の救急センターは初期研修医の実力を養う絶好の場です。
- 地域医療・一般外来研修：約2ヵ月間同じ協力病院・施設で行うことを基本としており、同じ病院で研修し地域の環境を理解することで、地域における医療、福祉の役割をより深く学ぶことができます。

◆教育体制

- 研修医のための勉強会が豊富にあります。
(オリエンテーション、スキルアップセミナー、症例発表会、CVCトレーニング等)。
カンファレンスにもローテーション問わず参加可能です。
- 学会参加の旅費補助や外部講習会の参加費補助あり（要件あり）。
- Up To Dateや医中誌Web、Pub Med等のデータベースや電子ジャーナルの契約多数。隣接する医学部図書館も利用可能です。



◆年間スケジュール例（標準コースの一例）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年次	救急部門			総合診療科			内科科				自由選択	
2年次	外科科	精神科	小児科	産婦人科	地域・一般外来		自由選択					

●協力型病院

東北医科薬科大学 若林病院、東北大学病院、仙台医療センター、仙台オープン病院、仙台徳洲会病院、JCHO仙台病院、総合南東北病院、登米市立登米市民病院、石巻市立病院、南三陸病院、公立刈田総合病院、福島県立医科大学附属病院、帯広第一病院、菅間記念病院、東北労災病院

●協力施設

登米市立米谷病院、登米市立豊里病院、塩竈市立病院、宮城利府掖済会病院、栗原市立栗駒病院、女川町地域医療センター、涌谷町町民医療福祉センター、岡部医院仙台、仙台往診クリニック、古川星陵病院、菅間在宅診療所

◆研修医数 (R5.4.1現在) 1年次 14人 (男性10人、女性4人) 2年次 13人 (男性12人、女性1人)

◆研修修了後の進路 当院や他院で専門研修等

処遇

身分	嘱託職員
給与	1年次 月額 320,000円程度) 2年次) 月額) 330,000円程度 (税込・諸手当除く)
賞与	年2回 (給与規程に基づき支給)
当直	1年次 月2～5回程度 2年次 月2～5回程度
保険	私学共済、雇用保険、労災保険等、医師賠償責任保険 (病院加入・個人加入は任意)
宿舎	借上げ宿舎有り (自己負担月額15,000円程度)

募集要項

募集定員	34人
応募資格	第118回 (令和6年実施) 医師国家試験受験予定者、医師免許取得者
選考方法	出願書類、面接、小論文
申込期間	令和5年8月4日 (金)
試験日	令和5年8月18日 (金) 実施予定 (詳細は当院ホームページでご確認ください)
病院見学	随時 (卒後研修支援センターホームページの病院見学申し込みフォームからお申し込みください)
連絡先	〒983-8512 宮城県仙台市宮城野区福室1-12-1 卒後研修支援センター 電話：022-259-1221 FAX：022-259-1232 E-mail：kenshu-shien@tohoku-mpu.ac.jp URL：http://www.hosp.tohoku-mpu.ac.jp/resident/



仙台医療圏

仙台オープン病院

仙台市宮城野区鶴ヶ谷

マッチング募集定員6人



院長
土屋 誉

当院の症例数の多さと先端医療の環境は医師として出発する皆さんにとって最高の病院の一つであることを確信しております。また、常に自分自身で考え研摩していく研修医には指導医をはじめ多くのスタッフがサポートを惜しみません。皆さんと共に研修・研究が出来る事を楽しみにしております。

病院の概要

(令和5年4月1日現在)

開設者	公益財団法人 仙台市医療センター 理事長 亀山 元信
病床数	一般330床（うち救急専用37床、健診センター10床）
診療科目 (常勤医師数)	消化器内科(24)、循環内科(7)、呼吸器内科(4)、消化器外科・一般外科(14)、心臓血管外科・呼吸器外科(2)、麻酔科(3)、放射線科(1)、救急科(2)、健診センター(2)、歯科(2)、病理診断科(1)、臨床検査室(1)、研修医(11) 計74人
指導医数	42人
一日平均入院患者数	217.7人(令和4年度)
一日平均外来患者数	267.5人(令和4年度)
年間救急搬送患者数	3,519人(令和4年度)
アクセス	○バス：市営地下鉄「旭ヶ丘駅」から鶴ヶ谷七丁目行き約15分「仙台オープン病院前」下車 ○JR：仙台駅からタクシーで約30分、東仙台駅からタクシーで約15分



病院の特徴

◆特徴

中核をなす消化器、循環器、呼吸器疾患の内科系、外科系の常勤医による紹介患者の特殊外来・検査外来、そして専門医による内視鏡治療やカテーテル治療、年間1,100例を超える外科手術件数は全国屈指を誇ります。一方、仙台圏救急医療システムのコントロールタワーとしての救急センターを併設し、虚血性心疾患・心不全・不整脈の診断・治療についても地域の中心的役割を担います。平成30年3月に緩和ケア病棟を含む新病棟が完成しました。

◆指定状況

基幹型臨床研修病院、新専門医制度内科専門研修プログラム基幹施設、地域医療支援病院全国第1号承認、日本医療機能評価機構認定病院、二次救急指定病院(365日24時間対応)、災害拠点病院

◆主な学会認定

日本人間ドック学会人間ドック健診施設機構評価認定、日本内科学会認定医制度教育関連病院、日本外科学会専門医制度修練施設、日本消化器病学会認定施設、日本循環器学会認定循環器専門医研修施設、日本呼吸器学会認定施設、日本消化器内視鏡学会指導施設、日本超音波医学会認定超音波専門医研修施設、日本消化器がん検診学会認定指導施設、日本消化器外科学会専門医修練施設、日本心血管インターベンション学会認定研修施設、マンモグラフィ検診施設画像認定施設、日本がん治療認定医機構認定研修施設、日本人間ドック学会人間ドック健診専門医研修施設、日本静脈経腸栄養学会・NST(栄養サポートチーム)稼働施設、日本静脈経腸栄養学会栄養サポートチーム専門療法士認定教育施設・日本栄養療法推進協議会認定NST(栄養サポートチーム)稼働施設、日本病理学会研修登録施設、日本麻酔科学会麻酔科認定病院、腹部大動脈瘤ステントグラフト実施施設、胸部大動脈瘤ステントグラフト実施施設、日本大腸肛門病学会関連施設、日本胆道学会認定指導医制度指導施設、日本肝胆膵外科学会認定肝胆膵外科高度技能専門医修練施設B、三学会構成心臓血管外科専門医認定機構 基幹施設、日本肝臓学会関連施設、日本栄養士会栄養サポートチーム担当者研修認定教育施設、日本隣臓学会指導施設

◆女性医師への支援制度

院内保育所完備、女性医師専用休憩室有り

研修の概要

◆特徴

仙台市内における中核的専門病院である仙台オープン病院において、内科・外科・麻酔科・救急科、仙台東脳神経外科病院及び研修協力施設で地域医療を、仙台市立病院または東北医科薬科大学病院で小児科、仙台市立病院で産婦人科、青葉病院で精神科を必修科目として研修する。麻酔科研修は外科研修の中で手術患者の麻酔を担当することでも行い、救急部門の研修は4週間救急部門に配属され、その後救急当直において救急研修8週間分に換算し、東北大学病院での研修も可能。さらに仙台市立病院では神経内科研修を、JCHO仙台病院では腎臓内科を選択できる。

2年間にわたってそれぞれ研修する。

◆年間スケジュール例

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年次	内科科科科						救急	外科科科科			麻酔科	
2年次	小児科	産婦人科	精神科	地域医療	選 択 研 修							

●協力型病院（科目）

仙台市立病院（小児科・産婦人科・神経内科）、青葉病院（精神科）、仙台東脳神経外科病院、JCHO仙台病院（腎臓内科）、東北大学病院（救急科）、東北医科薬科大学病院（小児科）

●協力施設

仙台往診クリニック、南光台伊藤クリニック、宮城県対がん協会、茂庭台豊齢ホーム、仙台市泉区保健福祉センター、宮城県赤十字血液センター、岩手県立高田病院、南三陸病院、公立黒川病院、ひかりクリニック

◆研修医数（R5.4.1現在） 1年次 5人（男性3人、女性2人） 2年次 6人（男性6人）

◆研修修了後の進路 当院または他院で専門研修

処遇

身 分	研修医（常勤）
給 与	1年次 月額（税込） 344,300円（基本給） 2年次 月額（税込） 358,800円（基本給）
賞 与	1年次 年額（税込） 765,000円 2年次 年額（税込） 1,235,000円
当 直	月約4回 当直後職務専念義務免除
保 険	健康保険、厚生年金保険、労災保険、雇用保険、医師賠償責任保険【病院加入】
宿 舎	指定一括契約アパート無償貸与（光熱水費・駐車場代は自己負担）
そ の 他	確定拠出年金加入



募集要項

募 集 定 員	6人
応 募 資 格	第118回（2024年実施）医師国家試験を受験する医師免許取得見込者
選 考 方 法	面接、小論文
申 込 期 間	試験日の1週間前まで
試 験 日	2023年7月～9月の金曜日（予定）
病 院 見 学	随時
連 絡 先	〒983-0824 宮城県仙台市宮城野区鶴ヶ谷5-22-1 医局秘書室（担当：栗田・大瀧） 電話：022-252-1111（内線4503・4506） FAX：022-252-9431 E-mail：rinshoukenshu@openhp.or.jp URL：http://www.openhp.or.jp



仙台医療圏

仙台市立病院

仙台市太白区あすと長町

マッチング募集定員 **17**人



事業管理者
奥田 光崇

当院では、県内トップの救急車受入れ実績を背景に、各診療科においてプライマリ・ケアの習得に十分な疾患を幅広く経験することができます。研修医としての2年間は、様々なことを柔軟に吸収できる貴重な期間です。是非当院で充実した研修を積み重ね、臨床医としての最初のステップを踏み出してください。

病院の概要

(令和5年4月1日現在)

開設者	仙台市長
病床数	525床（一般467床、精神50床、感染症8床）
診療科目 (常勤医師数)	呼吸器内科(5)、消化器内科(11)、循環器内科(11)、腎臓内科(5)、脳神経内科(4)、血液内科(4)、糖尿病・代謝内科(3)、感染症内科(1)、外科(13)、心臓血管外科(4)、脳神経外科(3)、整形外科(9)、形成外科(2)、精神科(6)、小児科(13)、皮膚科(4)、泌尿器科(4)、産婦人科(14)、眼科(3)、耳鼻いんこう科(4)、放射線科(3)、病理診断科(2)、救急科(7)、歯科口腔外科(2)、麻酔科(11) 計148人
指導医数	72人
一日平均入院患者数	9,367人（令和4年度）
一日平均外来患者数	4,887人（令和4年度）
年間救急搬送患者数	7,893人（令和4年度）
アクセス	仙台市営地下鉄長町一丁目駅から徒歩3分



病院の特徴

◆特徴

当院は、「開かれた病院」、「患者さん中心の医療」、「意欲的な病院」を基本理念とする100万都市仙台の中核病院です。昭和5年2月に開院して以来、90余年にわたり仙台市民の健康と福祉の向上に貢献してきました。市民の皆様信頼される利用しやすい地域の基幹病院として、また安全・安心な市民生活に欠くことのできない政策的医療の中心的な担い手として、市民の健康と生命を守る役割を果たしています。

当院の重点施策として救急医療、高度医療、臨床研修の充実を掲げています。特に臨床研修病院としては、救急医療を通して「鑑別診断能力」、「救命を含めた初期対応能力」、「プライマリ・ケア能力」を獲得することを目標としており、県内トップクラスの救急車受入れ実績を背景に、各診療科において研修医に対する指導に懸命に取り組んでいます。

さらに、平成26年11月1日、あすと長町地区への移転を機に、新たな政策的医療としてNICUの設置や身体合併症精神科救急医療の提供、救命救急医療や災害時医療、感染症対策の更なる充実を図っています。また、病院本館に加え、敷地内に院内保育所やレストラン・研修医実習室等が入る厚生棟と、研修医宿舎棟を建設し、快適な環境整備とアメニティの向上に努めています。



◆指定状況

第三次救急医療機関、臨床研修病院、災害拠点病院

◆主な学会認定

各学会認定臨床研修施設、各学会認定専門医研修施設

◆女性医師への支援制度

院内保育所設置（365日開所、週2回夜間保育実施）



研修の概要



心工コー実習



UNM Simulation



臨床研究発表

◆年間スケジュール

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年次	内科系診療科*						麻酔科	外科	小児科			
2年次	内科系*	救命急*	地域医療	産婦人科	精神科	自由選択						

内科系診療科*：上記研修期間のうち、一般外来を4週分行う。

救命*：上記に加え、休日直業務を月1回、2年間で約20日間を救急4週分とする。

●協力型病院（研修分野）

宮城県立精神医療センター（精神科）、国見台病院（精神科）

●協力施設

岡部医院、羽二生クリニック、光ヶ丘スペルマン病院、宏人会木町病院、宏人会中央クリニック、JR仙台病院、塩竈市立病院、イムス明理会仙台総合病院、公立黒川病院、土橋内科医院、仙台往診クリニック、宮城県対がん協会がん検診センター、宮城県赤十字血液センター、M&T在宅クリニック

◆研修医数（R5.4.1現在） 1年次 16人（男性7人、女性9人） 2年次 17人（男性14人、女性3人）

◆研修修了後の進路 当院専攻医、東北大学病院、岩手県立中央病院、亀田総合病院等

処遇

身分	会計年度任用職員
給与	1年次年収：約540万円、2年次年収：約720万円
賞与	夜間救急業務手当、救急手当、医学研究手当、時間外手当等
当直	1年次 月4～6回 2年次 月4～6回 ※大型連休、年末年始等の際は増枠あり
保険	健康保険、厚生年金、労災保険、雇用保険、医師賠償責任保険【病院加入あり・個人加入任意】
宿舎	有（敷地に隣接している研修医宿舎棟。単身者用40室）
その他	1人1台PC貸与、UpToDate、New England Journal等閲覧可能、院外BLS、ACLS、PTLS、JATEC、PALS等受講料補助制度あり、年1回の学会への参加費用支給あり

募集要項

募集定員	17人
応募資格	第118回（令和6年実施）医師国家試験受験予定者で、医師臨床研修マッチング参加者
選考方法	面接
申込期間	令和5年7月1日～8月25日まで（予定）
試験日	令和5年7月29日（土）、8月20日（日）、9月9日（土）（予定）
病院見学	随時（病院HPより申込みできます。）
連絡先	〒982-8502 宮城県仙台市太白区あすと長町1-1-1 総務課人事研修係（担当：菊地、浅野） 電話：022-308-7111（内線）2116 FAX：022-308-7153 E-mail：shokuin@hospital.city.sendai.jp URL：https://hospital.city.sendai.jp

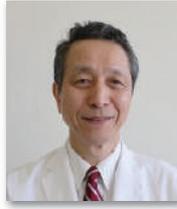


仙台医療圏

仙台赤十字病院

仙台市太白区八木山本町

マッチング募集定員 **6人**



院長
舟山 裕士

当院臨床研修プログラムの特徴は、研修医の希望に沿ったスケジュールを組めることや、マンツーマン方式の指導体制で臨床研修の基本がしっかりと身につくこと、秋田、沖縄、北海道などの協力病院で、救急医療、地域医療、精神医療を学ぶことです。次世代の有能な医師を育てることは当院の重要な使命です。熱意ある皆さんの研修を心よりお待ちしております。

病院の概要

(令和5年4月1日現在)

開設者	日本赤十字社 社長 清家 篤
病床数	一般389床
診療科目 (常勤医師数)	腎臓内科(3)、血液内科(1)、呼吸器内科(6)、消化器内科(5)、循環器内科(3)、総合内科(1)、糖尿病代謝科(0)、外科(5)、整形外科(8)、歯科口腔外科(1)、産婦人科(9)、小児科(4)、小児外科(2)、泌尿器科(3)、皮膚科(2)、耳鼻咽喉科(3)、眼科(1)、放射線科(1)、麻酔科(4)、総合周産期母子医療センター(NICU)(6)、病理診断科(1)、精神科(1) 計70人
指導医数	46人
一日平均入院患者数	4,223人(令和4年度)
一日平均外来患者数	1,518人(令和4年度)
年間救急搬送患者数	2,211人(令和4年度)
アクセス	仙台駅→(地下鉄東西線)→八木山動物公園駅→(バス)→日赤病院前



病院の特徴

◆特徴

小児は一般診療を行う小児科とハイリスクな新生児の治療を行うNICU(新生児科)に分かれており、県から指定を受けている総合周産期母子医療センターでは、産婦人科医と新生児科の医師が協力して周産期の医療を行っています。麻酔科医が4名と充実しており、整形外科は股関節と膝関節、外科は主に消化器疾患の手術、小児外科も特殊性のある手術を積極的に施行しております。内科は各分野の専門医・指導医・専攻医が熱心に研修医を指導し、論文・学会発表にも力を入れております。

◆指定状況

第二次救急医療機関、臨床研修病院、災害拠点病院

◆主な学会認定

日本消化器病学会、日本人間ドック学会、日本整形外科学会、日本外科学会、日本眼科学会、日本小児科学会、日本泌尿器科学会、日本周産期・新生児医学会、日本産科婦人科学会、日本消化器外科学会、日本消化器内視鏡学会、日本臨床細胞学会、日本IVR学会、日本放射線学会、日本循環器学会、日本小児外科学会、日本皮膚科学会、日本静脈経腸栄養学会、日本内科学会、日本大腸肛門病学会、日本麻酔科学会

◆女性医師への支援制度

院内保育所完備(24時間対応可)

研修の概要

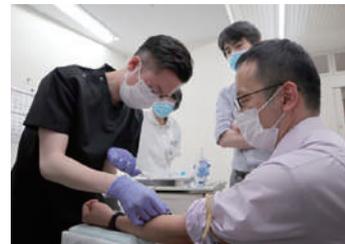
◆特徴

最初の2ヶ月は内科系か小児科からスタートし、オリエンテーションを含めた研修を行います。その後、各診療科で研修した後、2年次には自由選択期間を活用して将来を見据えた研修を行うことが可能です。

院外研修は希望すれば最大6ヶ月まで可能で、様々な地域の医療を研修することが出来ます。

2年の間にホスト科以外へ転向した場合も選択期間を有効に利用することが出来ます。プライマリーケアに対応するために、プログラムは経験目標に定められた必要項目を2年間で確実に達成できるような内容となっています。

医局のすぐ近くに研修医室があるため、専攻医や指導医に相談しやすい環境が整っています。



◆年間スケジュール

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年次	内科科科						外科科	小児科	産婦人科	麻酔科	選考択	
2年次	地域医療	救命急	精神科	選考考考考考考								



●協力型病院 (科目)

秋田赤十字病院 (救急)、仙台医療センター (救急)、仙台市立病院 (救急)、石巻赤十字病院 (救急)、清水赤十字病院 (地域医療)、宮城県立精神医療センター (精神科)、東北大学病院 (循環器内科、腎臓・高血圧内科、血液内科、リウマチ膠原病内科、糖尿病代謝・内分泌内科、消化器内科、腫瘍内科、心臓血管外科、緩和医療科、救急科、脳神経内科、リハビリテーション科、放射線治療科)、沖縄県立南部医療センター・こども医療センター (救急<選択>)

●協力施設

大波医院 (地域医療)、くまがいクリニック内科・消化器科 (地域医療)、森元クリニック内科胃腸科 (地域医療)、仙台市太白区保健福祉センター (地域保健)、宮城県赤十字血液センター (地域保健)

◆研修医数 (R5.4.1現在) 1年次 6人、2年次 5人 (男性10人、女性1人)

◆研修修了後の進路 東北大学病院、仙台市立病院 等

処遇

身分	常勤嘱託職員
給与	1年次 月額 (税込) 約390,000円 2年次 月額 (税込) 約410,000円 (令和4年度実績)
賞与	1年次 年額 (税込) 約530,000円 2年次 年額 (税込) 約810,000円 (令和4年度実績)
当直	月5回 (日直含む)
保険	社会保険・健康保険・厚生年金・労働保険。医師賠償責任保険は病院自体の加入は有。個人は任意。
宿舎	無 (借家手当月額22,000円まで支給) ※上記給与月額は借家手当を含んだ額。

募集要項

募集定員	6人
応募資格	第118回 (令和6年実施) 医師国家試験受験予定者
選考方法	書類審査、小論文、面接
申込期間	令和5年8月下旬メ切
試験日	応募者と相談の上随時決定する。
病院見学	随時
連絡先	〒982-8501 宮城県仙台市太白区八木山本町2-43-3 教育研修推進室 (担当:白鳥) 電話: 022-243-1111 FAX: 022-243-1101 E-mail: kyoikukenshu@sendai.jrc.or.jp URL: http://www.sendai.jrc.or.jp



仙台医療圏

仙台徳洲会病院

仙台市泉区高玉

マッチング募集定員5人



院長
井上 尚美



病院の概要

(令和5年4月1日現在)

開設者	医療法人 徳洲会 理事長 東上 震一
病床数	一般347床
診療科目 (常勤医師数)	内科(7)、消化器内科(1)、循環器内科(3)、糖尿病・代謝内科(2)、神経内科(1)、外科(7)、整形外科(3)、放射線科(1)、脳神経外科(2)、産婦人科(0)、泌尿器科(1)、小児科(1)、歯科口腔外科(4)、皮膚科(1)、麻酔科(4)、眼科(1) 計39人
指導医数	20人
一日平均入院患者数	2,359人(令和4年度)
一日平均外来患者数	314人(令和4年度)
年間救急搬送患者数	6,627人(令和4年度)
アクセス	仙台駅より地下鉄「泉中央駅」から徒歩20分 東北自動車道「泉スマート」ICから車で15分

病院の特徴

◆特徴

令和4年4月1日に待望の新築移転を行いました。ERをはじめ最新機器を取り揃え、体制は大きく充実しました。急性期医療が中心で、宮城県内でも有数の救急車受け入れ病院となっています。外科をはじめ整形外科、脳神経外科そして消化器内科の緊急治療体制を整えています。また24時間体制で急性冠症候群のインターベンション治療も盛んに行っています。一方で、プライマリ・ケア、地域医療に対しても開業の先生方と連携に力を注いでおり、バランスの取れた医療を行っています。内科系外科系ともに各種学会認定施設を取得しています。

◆指定状況

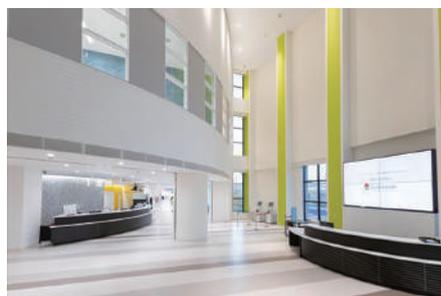
第二次救急医療機関、厚生労働省臨床研修指定病院

◆主な学会認定

厚生労働省 基幹型臨床研修指定病院、日本専門医機構認定内科専門研修基幹施設、日本消化器病学会専門医認定施設、日本消化器内視鏡学会専門医制度指導施設、日本循環器学会認定循環器専門医研修施設、日本糖尿病学会認定教育施設Ⅱ、日本外科学会外科専門医制度関連施設、日本専門医機構認定総合診療専門研修基幹施設、日本病院総合診療医学会認定施設、日本プライマリ・ケア連合学会認定後期研修プログラム、日本整形外科学会認定医制度研修施設、日本麻酔科学会麻酔科認定病院、日本病理学会研修登録施設

◆女性医師への支援制度

院内保育所完備



研修の概要

◆特徴

研修医指導のモットーは、少数精鋭で2年という短い研修期間で多岐に渡る症例を経験し、また多くの手技を修得して頂くことです。よってスーパーローテーション方式を取りながらも柔軟な研修指導体制をとっています。研修医は各科指導医のもとで10～15症例の主治医となり診療に当たります。連日指導医と共に診療に当たる一方で、担当科以外の症例の検査や手術にも積極的に参加して頂く様、各科で連携を図っています。更に重症の救急患者については、指導医の監督下で可能な限り手技・治療を研修医に行って頂いています。

また2年次に僻地離島での地域医療研修が経験できます。各科研修科終了時には症例報告会を行い、優れたものは学会で発表して貰います。日々目まぐるしく過ぎる多忙な病院ですが、高次救急からプライマリ・ケアに至るまで2年間で多くのものを得て頂けると思います。

◆年間スケジュール

	1～4週	5～8週	9～12週	13～16週	17～20週	21～24週	25～28週	29～32週	33～36週	37～40週	41～44週	45～48週	49～52週
1年次	内科科			外科科			内科科			救急部門/麻酔科			
2年次	小児科	産婦人科	精神科	地域医療		自由選択							

●協力型病院（科目）

（小児科）東北労災病院、（産婦人科）東北大学病院・東北公済病院・羽生総合病院、（精神科）国見台病院

●協力施設

（地域医療）瀬戸内徳洲会病院、宮古島徳洲会病院、庄内余目病院 他19施設から選択

◆研修医数（R5.4.1現在） 1年次 5人（男性4人、女性1人） 2年次 2人（男性2人）

◆研修修了後の進路 当院スタッフ、徳洲会グループ病院、出身大学入局等

処遇

身分	常勤研修医師
給与	1年次 月額300,000円 2年次 月額320,000円（税込、諸手当含まず）
賞与	1年次 年額450,000円 2年次 年額760,000円（税込、諸手当含まず）
当直	1年次 月4～6回 2年次 月5～6回
保険	健康保険、厚生年金、労災保険、雇用保険、医師賠償責任保険【病院加入あり・個人加入任意】
宿舎	病院借り上げマンション（家賃の半額）
その他	院内保育所あり（夜間保育・延長保育・一時預かり・勤務外預かり・日曜保育等あり）

募集要項

募集定員	5人
応募資格	第118回（令和6年実施）医師国家試験受験予定者
選考方法	筆記試験、小論文、面接、但し事前の病院見学を必須とします
申込期間	令和5年9月30日まで
試験日	随時
病院見学	随時
連絡先	〒981-3116 宮城県仙台市泉区高玉9-8 臨床研修センター（担当：佐々木） 電話：022-771-5111 FAX：022-771-5100 E-mail：sendai-kenshu@tokushukai.jp URL：http://www.tokushukai.or.jp/sendai/



仙台医療圏

坂総合病院

塩釜市錦町

マッチング募集定員13人



院長
富山 陽介

私たちが目指しているのは地域に根ざした community-based medicineともいえるべき新しい医療のあり方です。医師を含めた医療チームが連携と共同のスタンスで行うものです。地域医療に熱意を持っている研修医を広く求めます。

病院の概要

(令和5年4月1日現在)

開設者	公益財団法人 宮城厚生協会 理事長 内藤 孝
病床数	一般357床
診療科目 (常勤医師数)	循環器科(6)、呼吸器科(9)、消化器科(4)、糖尿病代謝科(6)、予防検診科(1)、総合診療科(2)、一般内科(1)、緩和ケア科(1)、外科(7)、麻酔科(3)、小児科(5)、産婦人科(8)、救急科(3)、脳神経外科(1)、リハビリテーション科(5)、在宅診療科(3)、整形外科(0)、形成外科(1)、放射線科(1)、漢方科(1)、病理部(1)、遺伝子診療科(0)、臨床検査(1) 計70人
指導医数	36人
一日平均入院患者数	259.7人 (令和4年度)
一日平均外来患者数	626.6人 (令和4年度)
年間救急搬送患者数	2,891人 (令和4年度)
アクセス	仙台駅よりJR仙石線にて25分 下馬駅下車 徒歩1分



病院の特徴

◆特徴

当院は、大正元年(1912年)私立塩釜病院として創設以来100年余の歴史をもちます。塩釜市を中心とする二市三町(多賀城市、七ヶ浜、利府、松島)と仙台市東部地域を合わせて人口25万の地域を診療圏とする中核病院で、外来、入院医療はもとより、在宅診療、患者会活動、職健診などの医療活動から総合的三次機能まで、地域医療の可能性を追求しています。病院の理念である「わたしたちは確かな医療と共同で地域の安心を支えます」を合言葉に、差額ベッド料金を一切とらず、患者さまの立場に立った医療を目指しています。

当院のローテーション研修は45年以上に及ぶ歴史があり、これまでに約300名の研修医を受け入れ、指導医の多くはその研修で育っています。初期研修修了後、当院での専門研修に進む専攻医たちが後輩指導にあたり、屋根瓦方式の研修を行っています。

◆指定状況

第二次救急指定病院、災害拠点病院、地域医療支援病院、基幹型臨床研修指定病院

◆主な学会認定

NPO法人卒後臨床研修評価機構(JCEP)認定病院、日本医療機能評価機構認定病院、日本内科学会認定医制度教育施設、日本消化器病学会認定施設、日本消化器内視鏡学会認定指導施設、日本呼吸器学会認定施設、日本呼吸器内視鏡学会認定施設、日本糖尿病学会認定教育施設、日本外科学会外科専門医制度修練施設、日本消化器外科学会専門医修練施設、日本循環器学会認定循環器専門医研修施設、日本リハビリテーション医学会研修施設、日本プライマリ・ケア連合学会認定医研修施設、日本産科婦人科学会専門医制度専攻医指導施設、宮城県医師会母体保護法設備指定医療施設、宮城県医師会母体保護法指定医師研修機関、日本麻酔学会麻酔科認定施設、日本小児科学会小児科専門医研修施設、日本救急医学会救急科専門医指定施設、日本胆道学会認定指導施設、日本心血管インターベンション治療学会認定施設、日本臨床栄養代謝学会認定NST稼働施設、日本栄養療法推進協議会認定NST稼働施設、栄養サポート専門療法士認定教育施設、日本ストーマ・排泄リハビリテーション学会ストーマ認定施設、日本感染症学会認定研修施設、日本がん治療認定医機構認定研修施設、日本東洋医学会研修施設、日本病理学会病理専門医研修認定施設、マンモグラフィ検診施設、世界保健機関(WHO)・ユニセフ赤ちゃんにやさしい病院認定施設

◆女性医師への支援制度

院内保育所(1歳年度末まで)、育児短時間勤務制度(3歳未満)、哺育時間(1歳未満1日1時間保障)、短時間勤務制度

研修の概要

◆特徴

基礎研修プログラムでは、①36週の内科研修でCommon Diseaseを幅広く経験する、②地域医療研修12週を小規模病院で行ない地域医療の果たす役割を理解する、③救急外来・一般外来・訪問診療など疾患横断的な外来診療を通年で行ない、プライマリ・ケアを経験します。研修医は救急診療から入院での専門的治療、外来診療、在宅診療まで、上級医・指導医・多職種の支援を受けながら主体的に診療に携わります。

総合診療・地域医療重点プログラムは、地域医療に対する深い理解と実践、総合診療に必要な能力の基礎を固めることに重点をおき、総合診療科と救急科、地域医療研修の期間を長く設けています。総合診療専門研修へシームレスにつなぐプログラムとして、総合診療専門医を目指す方に選んで欲しいプログラムです。

新専門医制度においては内科・総合診療科の基幹型プログラムの他、大学病院などの連携施設として、外科・産婦人科・小児科・リハビリテーション科などの専門研修を行うことが可能です。更に、専門研修プログラムに進む前に幅広い経験を積むTransitional Year研修、小規模病院での「地域プライマリ・ケア研修」や複数志望科での重点研修など、研修医の希望に合わせてオーダーメイドで行う3年目研修も整備しています。

◆年間スケジュール例

【基礎研修プログラム】※在宅診療と救急車当番を通年で担当し、内科・地域医療では一般外来研修を週1回行います。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年次	導入研修	循環器			呼吸器			外科科科科			救命急	
2年次	消化器			地域医療			小論児		産婦婦	精神神	選考択	

【総合診療・地域医療重点プログラム】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年次	導入研修	救命急			内科(総合診療)				地域医療	外科科	産婦婦	
2年次	地域医療	内科(総合診療)			小論児	精神神	救命急		地域医療			

●協力型病院 (科目)

泉病院、長町病院、古川民主病院、至誠堂総合病院、鶴岡協立病院(内科、地域医療)、緑ヶ丘病院、宮城県立精神医療センター、藤代健生病院(精神科)、東北大学病院、桑野協立病院(整形外科)、川久保病院(地域医療)

●協力施設

坂総合クリニック、坂総合病院附属北部診療所、松島海岸診療所、しばた協同クリニック、本間病院、さわやかクリニック

◆研修医数 (R5.4.1現在) 1年次 9人 (男性8人、女性1人) 2年次 10人 (男性8人、女性2人)

◆研修修了後の進路 当院で専門研修、各大学、各病院

処遇

身分	正職員
給与	1年次 月額370,700円 2年次 月額390,700円 *税込・諸手当除く
賞与	1年次 年額690,000円 2年次 年額720,000円 *税込
当直	1年次 月2～3回 2年次 月2～3回 時間外手当+当直手当(時間帯・曜日による)
保険	健康保険、厚生年金、労災保険、雇用保険、医師賠償責任保険【病院・個人加入あり】
宿舎	無 (但し住宅手当月額 30,000円補助あり)
その他	近隣に保育施設(院内保育所)あり 年次有給休暇20日、リフレッシュ休暇7日/年

募集要項

募集定員	13人(基礎研修プログラム11名、総合診療・地域医療重点プログラム2名)
応募資格	第118回(令和5年実施)医師国家試験受験予定者、及び医師国家試験合格者で研修未修了者
選考方法	実習・面接・小論文
申込期間	令和5年9月末日まで
試験日	随時 ※相談の上対応いたします。
病院見学	随時対応いたしますので下記のアドレス又はwebサイトからお申込みください。
連絡先	〒985-8506 宮城県塩釜市錦町16-5 医師研修担当事務：北山 電話：022-361-7033 FAX：022-366-6555 E-mail：kensyu@zmkk.org URL：https://www.m-kousei.com/saka/



仙台医療圏

総合南東北病院

岩沼市里の杜

マッチング募集定員 **3**人



院長
西村 真実

総合南東北病院は、仙台市の南、仙台空港のある市にあります。急性期病院ですが回復期も備え、慢性期・維持期の患者さんにも対応ができる地域完結型の病院です。能力の高い研修医から自信のない研修医まで研修期間がすすむにつれて実力をつけ、臨床医としての自信をつけることができます。小回りがきくため、多くの救急搬入の患者を診ることが可能であり、実際に多くの臨床を経験し、直接指導を受けることで、その技術を獲得することが可能です。また様々な臨床場面の参加が可能で、研修医としての経験を積むには最適な病院と思います。ぜひ当院で研修医としての経験を積みませんか。

病院の概要

(令和5年4月1日現在)

開設者	社会医療法人 将道会 理事長 渡邊 一夫
病床数	一般271床
診療科目 (常勤医師数)	循環器内科(4)、消化器内科(1)、呼吸器内科(2)、外科(4)、整形外科(2)、脳神経外科(7)、泌尿器科(1)、放射線科(2)、救急科(2)、麻酔科(1)、リハビリ(2)、神経内科(6) 計34人
指導医数	21人
一日平均入院患者数	184人(令和4年度)
一日平均外来患者数	5344人(令和4年度)
年間救急搬送患者数	2,318人(令和4年度)
アクセス	仙台駅より東北本線で20分、岩沼駅下車 岩沼駅より車で約5分、徒歩にて約15分 仙台空港より車で約15分、仙台東部道路岩沼ICより約3分



病院の特徴

◆特徴

当病院は昭和60年12月、岩沼市東部にある公共ゾーン内に岩沼市からの誘致により設立しました。昭和62年より救急告示病院の指定を受け、平成13年からは岩沼地域保健医療圏病院輪番制病院を受託し、岩沼市、名取市、亶理町、山元町各住民の休日夜間における二次救急医療の担い手として明確に位置づけられ、地域の中核的病院として救急を中心としたより良い医療サービスを提供するべく努力しています。基本理念に「皆さんが安心して暮らせ、心の支えとなる病院に」を、また、院是に「すべては患者さんのために」を掲げ、思いやりのある医療をすすめるとともに、急性期から在宅までの医療を担い、地域住民の幅広いニーズに応えています。

◆指定状況

救急指定病院、地域災害拠点病院、宮城DMAT指定病院、臨床研修指定病院

◆主な学会認定

救急指定病院、地域災害拠点病院、宮城DMAT指定病院、日本脳神経外科学会専門医研修プログラム連携施設、日本脊髄外科学会認定訓練施設、日本脳卒中学会認定研修教育病院、一次脳卒中センター(PSC)、日本外科学会外科専門医制度修練施設、日本麻酔科学会認定病院、日本がん治療認定医機構認定研修施設、日本循環器学会認定循環器専門医研修関連施設、日本消化器外科学会専門医制度指定修練施設、日本消化器内視鏡学会指導連携施設、日本消化管学会胃腸科指導施設、日本内科学会認定教育関連病院、日本脳ドック学会認定施設、日本整形外科学会専門医研修施設、日本禁煙学会教育施設、腹部救急認定医・教育医制度認定施設、公益社団法人日本理学療法士協会生涯学習制度(新人教育プログラム)臨床指導施設、公益財団法人日本医療機能評価機構認定(一般病院)

ISO 9001:2015認証取得、ISO 14001:2015認証取得、臨床研修指定病院



◆女性医師への支援制度

院内保育所完備

研修の概要

◆特徴

当院のプログラムは総合南東北病院を主体とした卒業後2年間の初期臨床ローテート研修プログラムです。当院は、岩沼・名取・亶理地区（人口約151千人）における随一の救急医療機関です。救急搬入は年間約2,500件を数え、特に脳神経外科、整形外科を含む多様な外科疾患の初期研修にはうってつけの環境にあります。

さらに岩沼・名取・亶理地区のメディカルコントロールの拠点としても機能しており、月1回救急救命士を含めた事例検討会を開催して、地域全体の問題として救急医療のレベルアップにも取り組んでいます。また、急性期医療だけでなく、発症後のQOLを高めるため早期よりリハビリを実施し、社会復帰をサポートする体制も充実していますので、トータルで患者を診ることができる環境にあると考えます。当院は地域に密着した医療（主として救病・救急疾患）を経験することにより、広い視野を持ち、多岐にわたる疾患に対応できる実践向きの医師の育成を行えるものと考えます。



◆年間スケジュール

	1～4週	5～8週	9～12週	13～16週	17～20週	21～24週	25～28週	29～32週	33～36週	37～40 41～44週	45～48週	46～52週
1年次	内科科科科 (24週)						救命急命科 (12週)			外科科 (8週)	地域医療 (4週)	小児科 (4週)
2年次	産婦人科 (4週)	精神科 (4週)	選 択 科 (44週)									

●協力型病院（科目）

東北大学病院、東北医科薬科大学附属病院、宮城県立こども病院、宮城県立精神医療センター、一般財団法人脳疾患研究所附属総合南東北病院、スズキ記念病院

●協力施設

あいのもりクリニック、介護老人保健施設サニーホーム



■研修医数（R5.4.1現在） 1年次 3人 2年次 1人

処遇

身分	医師（研修医）、正職員
給与	1年次 月額500,000円 2年次 月額545,000円（税込）
賞与	無 *日当直手当、緊急業務手当等有
当直	1年次 月1～2回 2年次 月1～2回
保険	全国健康保険協会、厚生年金、労災保険、雇用保険
宿舎	無（住宅手当月額 70,000円まで支給）



募集要項

募集定員	3人
応募資格	第118回（令和5年実施）医師国家試験受験予定者、医師免許証取得済者
選考方法	書類審査、面接、
申込期間	随時受付致します。
試験日	随時受付致します。
病院見学	随時（交通費補助あり）※ホームページより申込みできます。
連絡先	〒989-2483 宮城県岩沼市里の杜1丁目2番5号 社会医療法人 将道会 総合南東北病院 事務局（担当：総務課秘書 白石） 電話：0223-23-3151 FAX：0223-23-3150 E-mail：dr@minamitohoku.jp URL：http://www.minamitohoku.jp

